

02

阪南大学和泉研究室と取組む文化財を活かした地域づくり ニュースレター

ゼミの授業に参加

こんなの考え中！の中間発表

日時：平成30年1月17日（水）

13:15～14:30

場所：阪南大学南キャンパス

参加人数：13名（阪南大学生10名、泉南市3名）

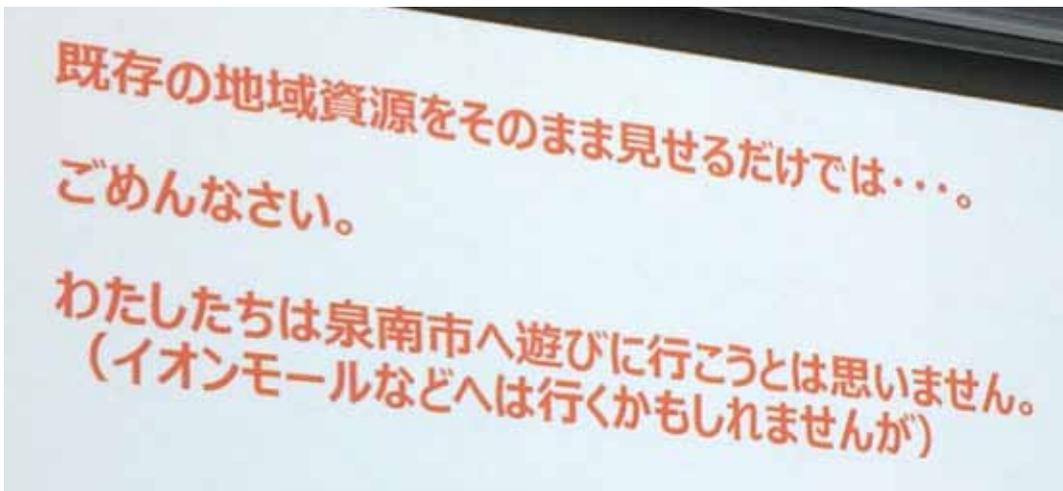
■提案にむけての中間発表

いくつものプロジェクトをかけ持ちしながら、前回（平成28年10月9日）以降、泉南市をフィールドにした研究に取り組んできた和泉研究室の皆さん。「学生たちの中間発表を聞きに来てほしい」と和泉先生から連絡を頂き、市民協働担当2名とまいぶん担当1名でお邪魔しました。

「中間発表なので…」との和泉先生の前置きにもかかわらず、その内容は盛りだくさん。経験豊富な3回生と、「発表は初めて」という1回生の合計3つの



グループが披露してくれたアイデアは、発展性のあるものばかり。ツアープランに、文化遺産を活かした物産の開発、古民家を活かしたものなどのアイデアをお披露目してくれました。



ドキッとする言葉ではじまるアイデアフラッシュ

【和泉ゼミとしての全体発表】

「もしも私たちが泉南市へ遊びに行くとしたら…」
「ごめんなさい…私たちは泉南市へ遊びに行こうとは思いません」との刺激的な一言からはじまった3回生からの発表。泉南市の課題を、より具体的に言い換えてくれた言葉です。「だから和泉先生にお願いし

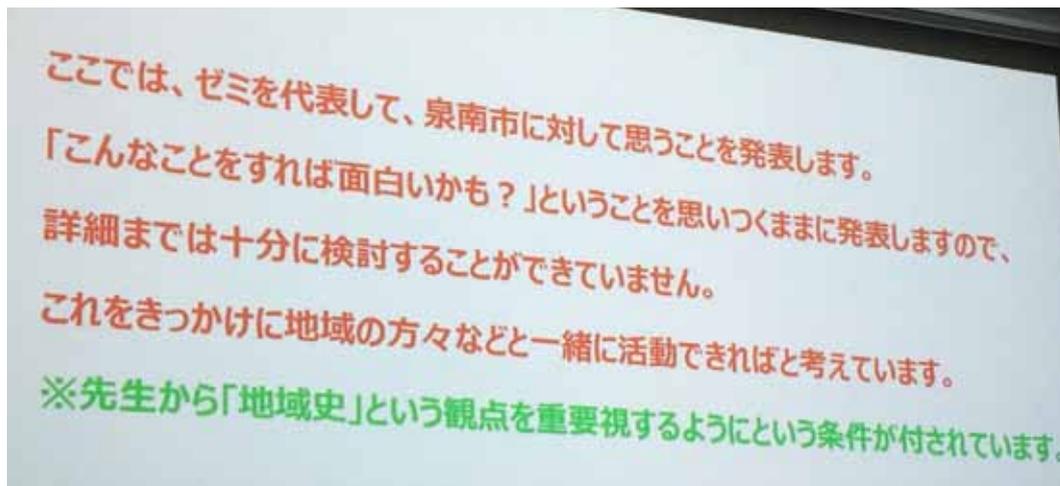
ているのです…」
と思わずつぶやいてしまいました。

彼らが言うには、ショッピングモールと、隣接するマールビーチへは「行くと思います」が、それ以外は「工夫」が必要とのこと。学生目

線で選んだ7つの地域資源に、「こんなことをすれば面白いかも？」との工夫を盛り込んだアイデアはこんなものでした。

①恐竜が見つかるかもしれない？と化石をみせるのではなく…発掘したりクッキーにする、②農業や漁業を見に行くだけでなく…体験することで売りにす

る、③実はすごいんです！とレンガづくりの歴史を自慢するのではなく…まずはチョコ、④世界的なタコつぼのまちは泉南だと発信するだけでなく…タコつぼ漁も体験する、⑤郷土料理を食べるだけではなく…つ



「地域史」とのお題があるのでかなりハードルが高くなっている様子

くる、⑥古民家を見るのではなく…泊まる、⑦タコやアナゴの特産品を出荷するだけではなく…タコあられ・アナゴあられ等のひと手間くわえた特産品にする、などなど。「こうしたら、もっと面白いのでは」と、アイデアをつけたしたくなるものばかりでした。

【1回生のグループ発表】「泉南市の花めぐり」「花笑み」でいっぱいのおまち泉南市。だからこそ、花を前面に出すべきとのアイデアです。

2月の梅、4月の桜とフジ、5月のツツジとさつき、6月のアジサイ、花卉栽培の農園や、林昌寺の庭園をめぐるだけでなく、途中でドライフラワーをつかったフォトフレームづくりや、花柄弁当箱など「ここだけ感」を加えたプラン。ターゲットは「大切な人」だそうです。

いっそのこと「ここだけ感」にとことんこだわることで、大切な人を満足させるようなアイデアにしてみたら？とあれこれ想像しながら聞き入ってしまうような素晴らしい内容でした。

【1回生のグループ発表】「泉南市満喫ツアー」市内の名所などをまる一日かけて自転車めぐりも

の。紀州街道沿いの名所をめぐり、岡田浦漁港でのBBQと、サザンぴあでのお土産探しのほか、水ナスをつかった（郷土？）料理の体験など盛りだくさんの内容です。

自転車は、和泉砂川駅すぐの観光案内所にあるレンタサイクルを活用。街道沿いのみどころとして注目してくれたのは、長慶寺や一岡神社（できればまいぶんもまわってほしい！）のおなじみどころのほか、水ナスの漬物を販売する「まるも」さんにも立ち寄ります。岡田浦では関空を眼の前にした漁業体験と、BBQ。とても楽しそうです。

うれしいなあと思ったのは、水ナス料理ができるところ。購入した水ナスを、持って帰るのではなく、食べて帰るところがユニークです。

■何度も行きたくなる体験できるプランを！

いずれの内容も具体的で発展性があるものばかりなので、「付け加えるところがあれば？」との和泉先生の質問に、つつい「体験とリピーターを増やす工夫もぜひ」とワガママをお願いしちゃいました。次回の本番がとても楽しみです！

■次回以降のごあんない 平成30年夏に公開プレゼンを開催（予定）

阪南大学和泉ゼミでは、この日発表してくれたアイデアをもとに、「泉南にいてみよう」と思える内容の企画を練り上げるとのこと。できあがった企画は、発表会で市民の方々にお披露目。市民と一緒に企画実現に向けてのチーム作りと、企画実現のためのワークショップを数回実施します。

この取り組みに 参加してみたい方大歓迎です！
問合せ・ご意見は、泉南市埋蔵文化財センターまで
TEL:072-483-6789
メールアドレス：maibun@city.sennan.lg.jp

【とき】平成30年夏（予定・詳しくは広報などで）
【ところ】泉南市埋蔵文化財センター